



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



2020 年 4 月 1 日発行 号外

ワシントン日本語学校
校長 森 宏 介

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411

新たな可能性への挑戦開始です

～教職員は元気に前を向いています～

ワシントン日本語学校会員の皆様、本日より新年度が始まります。すでにお知らせしておりますように、管理運営委員会は8月22日を目標に対面授業を開始することを決定しました。状況に劇的な変化があれば、夏休み前に対面授業を開始できる可能性も残されていますが、目標日に確実に対面授業を実施できるという保証はありません。全てはウイルス次第だと言えます。

この間、学校を閉じ授業を行わないという選択肢もありますが、ただでさえ授業時数が少ない補習校の状況を考えると、残りの日々で1年間の学習内容を網羅することは事実上不可能です。したがって、この3カ月、何らかの形で学習を進めていくことが求められます。

学校は、3月28日の管理運営委員会の決定を受け、翌29日に臨時オンライン職員会議を開催し、今後の学習活動の可能性についての意見交換を行いました。その後、学団・教科、学年会をもち、オンライン授業を含めた遠隔授業の方法やシラバス等について具体的な議論を行っています。各学団・学年会議には、私たち派遣教員も参加し感触を確かめました。

先生方は、遠隔授業に向けて意欲満々です。また、話のいたるところで、「こんな時だからこそ、子供に学習機会を提供し続けたい」という思いを感じました。このように私たち教職員は、「新たな挑戦」に向け意欲に満ち溢れていることをお伝えします。

学校は、今、4月11日の管理運営委員会の決定を待っているところです。遠隔授業の実施が決まり次第、迅速に対応して参ります。学校の「新たな挑戦」にご期待ください。

情報提供と学校からのお願い

～今だからこそ家庭学習を～

海外で日本語を学ぶ子どもにとって学習機会を失うことはとても大きな不利益となります。ご家庭におかれましては、日本語学校が活動を停止しているこの期間こそ、ご家庭で日本語に触れる機会を作っていただきたく存じます。その際、自宅でも比較的簡単に組み入れる方法と内容及びその際、活用できそうなポータルサイトを紹介しますので、積極的にご活用ください。

【その1】子供の学び応援サイト

文部科学省は子供向けの学習支援コンテンツにかかわるリンク集を作っています。下のURLとリンクしているサイトで楽しく面白い学習を探してみてください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

【その2】ちびむすドリル

幼児から中学生までの様々な学習プリントが無料で手に入ります。日本語学校の授業がない間は、特に漢字の読み書き、語彙の習得に力点を置き、日本語力を維持・向上させてほしいと思います。

<https://happyilac.net/hiragana-h.html>

【その3】福娘童話集 366 日の昔話

絵本・アニメ紙芝居や日替わり昔話などコンテンツは豊富です。よくわからなくても何度も聞いているうちに少しずつ内容がつかめるようになるはずです。「読書百遍、意自ら通ず」です。

<http://hukumusume.com/douwa/index.html>

【その4】海外子女教育振興財団の通信教育

有料。以下のサイトで内容費用等をご確認ください。

<https://www.joes.or.jp/kojin/tsushin>

卒業式で読み上げる予定だった在校生代表の「送辞」を紹介します

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。高等部1年 生徒会副会長の金澤大知です。

私達が慣れ親しんだ平成も終わり、新しい令和の時代になりました。令和元年の一年間は、それぞれの学部をリードしてくれた卒業生の皆さんのおかげで、素晴らしい一年になりました。皆さんが様々な場面で発揮されたリーダーシップにより、一段と団結力のある補習校を作り上げてくださったと思います。

小学部六年生の卒業生の皆さん、運動会では小学部をリードし共に運動会を盛り上げる事が出来たね。生徒会でも六年生は積極的に意見交換や活動に参加し、その熱心さには私達上級生も大変刺激を受けました。毎年開催している「青空ピクニック」でも小学部の最高学年として、低学年をまとめあげリーダーシップを発揮してくれました。

中学部三年生の卒業生の皆さんにとっての最大のイベントは、やはりワシントン桜祭りでのボランティア活動ではなかったでしょうか。日米交流最大級の催しで「日本の親善大使」として、またワシントン補習授業校の代表として、これまでの日本語学習の成果を発表する大事なイベントでした。私も中学三年生の時、この「親善大使」という肩書きにワクワクしていた自分を思い出します。このワクワクを感じたのは私だけではない筈です。アメリカの人々に日本の文化を紹介した経験は、中学三年生の皆さんにとって何物にも代えがたい思い出となったことでしょう。

高等部二年生の卒業生の皆さんはついに、この日がやってきましたね。日に日に難くなる日本語学校と現地校の勉強を両立させ、さらにスポーツや様々な課外活動を行いながら、日本語学校に毎週通う事は簡単な事ではなかったと思います。それでも諦めずに迎えられる今日の卒業式は、きっと達成感で満ち溢れていると思います。日々の生徒会活動や運動会での先輩方のリーダーシップと団結力、常に一步先を歩む先輩たちの背中から私たちは沢山の事を学びました。常に補習校の旗振り役として全校生徒を先導してくれた先輩方を見習い、来年度は私達が最高学年としてワシント

ン日本語学校のお手本となれるように頑張っていきたいと思います。

「百戦錬磨」という言葉があります。これは、物事の経験を沢山積み重ねて鍛える、という意味です。この新しい時代・令和が抱える様々な問題に立ち向かい、力強く生きていくには、きっと補習校で積み重ねた経験が大きな力になってくれるのではないのでしょうか。

今日をもって補習校での学習を終えることを決断した小学6年、中学3年生の卒業生の皆さん、そして補習校での全てのプログラムを完了した高校2年生の皆さん、これからは今までとは違った土曜日になりますが、多くの挑戦を重ねて新しい道を切り開いていってください。

また、中学部、高等部に進む決断をした小学6年、中学3年生の卒業生の皆さんは、これからも共に努力を続け、ワシントン日本語学校の一員として、一緒に様々な活動に取り組んでいきましょう。

会場に飾られている桜の木は、生徒会主導で在校生達が思いを込めて作成したものです。卒業生の皆さんへの感謝の気持ちと、この桜の木のように未来が希望で溢れるように心から願い、送辞とさせていただきます。



令和2年 3月 21日 在校生代表 金澤大知

ご厚情に感謝申し上げます

令和元年度の卒業生の皆様より、以下のご寄付並びに記念品を頂戴いたしました。皆様のご厚情に感謝いたします。いただきました金品は、学校行事等教育活動振興のために使わせていただきます。

○ご寄付（700米ドル程）小学部卒業生皆様より

○茶器一式 中学部・高等部

卒業生の皆様より

★儀式的行事の折、ご来賓接待用の茶器として使用します。

